

投資事業評価調書(新規)

部課室名	街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 足立 眞清 (丸岡 剛)	内線	4474 (4480)
------	-----	---------------------	--------------------	----	----------------

事業種目	街路	事業名	事業区間	総事業費	約7.5億円
		都市計画道路 宝塚平井線(平井工区) (国道176号)	宝塚市平井6丁目 ~宝塚市雲雀丘4丁目	内地補償費	約6.0億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
宝塚市平井6丁目~宝塚市雲雀丘4丁目			H17年度	H17年度	H21年度
事業目的			事業内容		
<p>本路線は国道176号として、宝塚市と川西市の中心市街地を連絡する阪神間北部の東西幹線道路であるとともに、地域の重要な生活道路であり、以下の目的から事業を計画する。</p> <p>歩行者・自転車の安全性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩道の設置により、歩行者・自転車の安全性の向上を図る。 緊急輸送路の早期整備 緊急輸送道路として早期に整備を図り、都市の防災機能を高める。 			<p>道路改築(拡幅) L=420m 現況:2車線 歩道無し W=5.5(6.5) 計画:2車線+2.0m 両側歩道 W=6.0(12.0) 昭和30年都市計画決定</p> <p>交通量</p> <p>自動車</p> <p>現況 : 12,939台/日(H14年実測) 計画 : 13,930台/日(H42年予測)</p> <p>歩行者現況: 70人/12h(H14年実測) 自転車現況: 40台/12h(H14年実測) 〔負担割合 県1/2、市1/2〕</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 沿道には学校、駅等の公共施設も多いものの歩道が設置されていないため、人身事故が多発しており、歩道の整備により安全の向上を図る必要がある。 (H15年の死傷者数7人、死傷事故率280人/億台km) 本路線は緊急輸送道路ネットワーク計画に緊急輸送道路として位置づけられており、早期に整備を行う必要がある。 				
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> JR福知山線と阪急宝塚線の間で、これらに平行して本路線を整備することにより、駅間を連絡し市街地の活性化を図る。 				
快適性、ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> 歩道をセミフラットとすることにより高齢者・障害者に配慮した整備を行う。 				
その他	<ul style="list-style-type: none"> 宝塚市の街路整備プログラムに前期(H19年度まで)着手路線に位置づけられ、広報誌により公表されている。 				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比 B/C = 1.6 本工区の整備により、川西市域の既設歩道を含め阪急宝塚線売布神社駅から雲雀丘花屋敷駅までの間の歩道が一連で繋がることとなり、歩行者・自転車の安全な動線を確保する。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 周辺は密集した市街地であることから、車道は排水性舗装、歩道は高木植樹と透水性インターロッキング舗装を行い、沿道環境の改善を図る。 両側に植樹を行うこととしており、住宅市街地との景観にも配慮している。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 中山工区、山本中工区およびJR中筋北土地区画整理事業がH18年度に完成予定であり、用地買収が概ね平成17年度で完了することから、引き続き平成17年度より本工区に事業着手する。 一般国道176号整備促進期成同盟会、地元自治会の平井自治会、雲雀丘西地区自治会、地元小学校の長尾小学校から歩道設置の要望が強く、地元地区の最優先課題となっているため、早期に整備を行う必要がある。 				